

多職種連携をすすめています。 ADLチームの取り組み

患者様にリハビリ以外の病棟での時間をいかに有効に過ごしていただくのか、職域を越えた連携で短期間に最大の効果を引き出すため療法士と病棟スタッフで毎月集まって話し合いをしています。

患者様のできるADLと病棟でしているADLの差が無くなることを目指しています。

→厚労省が示した入院日数とリハビリの運動利得の係数がさらに上昇しました。

2015年7月29.3→2016年7月29.9

ADLとは、日常生活動作 (Activities of Daily Living) の略で、食事、排泄、着脱衣、入浴、移動、寝起きなど、日常の生活を送るために必要な基本動作のことで、高齢者の身体活動能力や障害の程度をはかる上で重要な指標の一つとなっています。

多職種連携をすすめています。 更衣の取り組み

「患者様に日中は普段着で過ごし更衣は朝夕実施していただく！」を目標に更衣の取り組みが成果を出しています。

すべての患者様に更衣が行えるようになっていただくことを目指して療法士と病棟スタッフが連携しながら統一した介入、介助を実施することによって5月～9月では90%の患者様に更衣が出来るようになっていただきました。

ご家族からも「自分で更衣ができるようになって良かった。」などの声が聞かれるようになってきました。

当院では更衣のケアが「実施して当たり前」のものになってきました。

